Lite-Puter

CX-12

取扱説明書

Ver1.02

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は LITE-PUTER の CX-12 をご購入いただき、誠に有難う御座います。
CX-12 の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

基本仕様

- デュアルコントロール信号出力
  （1） DMX512/1990 準拠　(2) 24 チャンネルアナログ信号出力 0-10V
- 96 チャンネル/512 パッチ出力
- 4 セットのパッチ編集機能
- 96 のプリセット・シーン
- 24 のプリセット・チェース
- 64 ステップを各チェースに登録可能
- 独立した 2 つの A/B クロスフェーダー
- オーディオ・コントロール可能
- データを外部メモリーに保存可能（オプション）

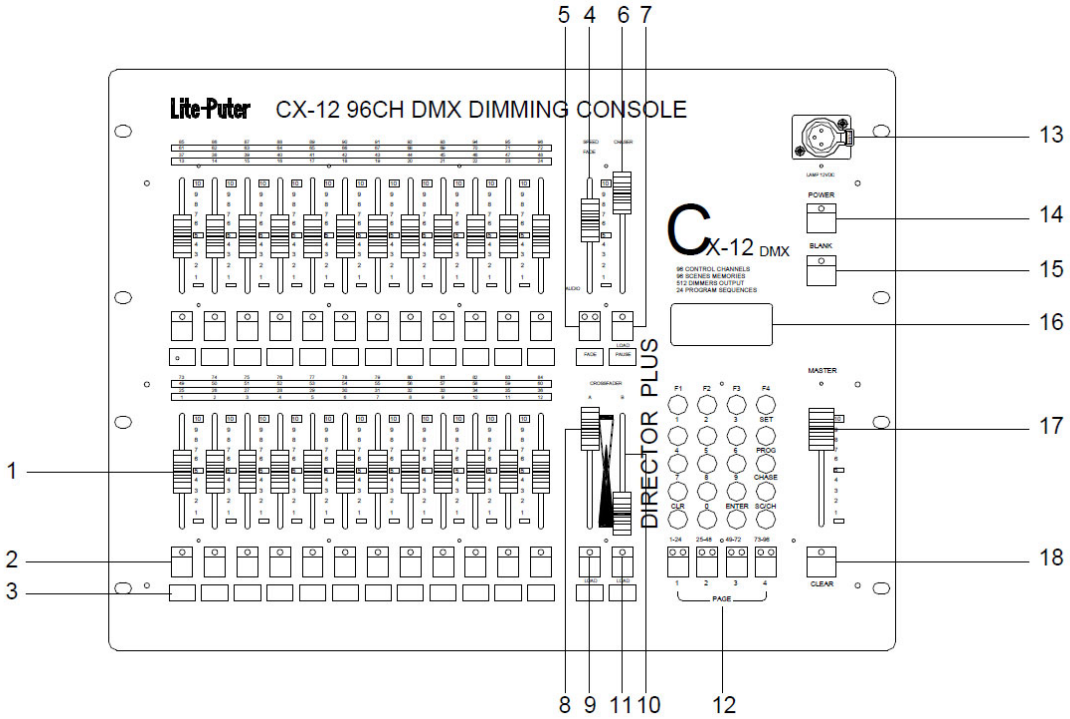
安全上の注意

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
- 電源ケーブルに異常がある場合は直ちに使用を停止して下さい。
- 電源ケーブルのアースピンを抜き取ったり、折ったりすることはお止め下さい。アースピンは本体内部回路がショートした際に感電の危険性を最小限に抑える役割をします。
- 本体といかなる接続を行う場合、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
- どのような状況下においても本体カバーを絶対に開けないで下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用を中止して下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 必ず本体を安全で安定した環境に設置して下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。

本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、お手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で機材を開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

各部の名称と機能

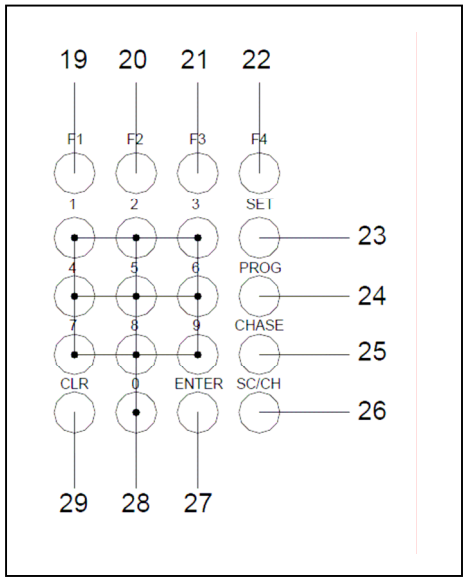
コントロールパネル



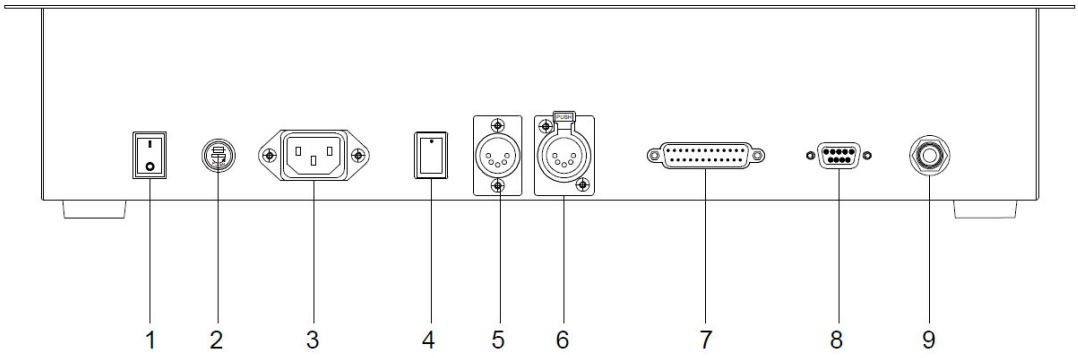
1) フェーダー#1～24
2) フェーダーボタン#1～24
   - LED が各チャンネルのステータスを表示（チャンネルモード時）
   - シーンの選択（SCENE モード時）
   - フラッシュ
   - 各ボタンへチェースの読み込み
3) ラベルスペース・・・・・チャンネル設定等のメモ等に使用します
4) スピードフェーダー・・・・・チェース、クロスフェードのスピードを調整します。
5) フェード保存ボタン・・・・・クロスフェードモード時に使用します。
6) チェーサーフェーダー・・・・・チェースの明るさを調整します。
7) ロード/ポーズ・・・・・チェースモード時に使用します。
8) クロスフェード”A”フェーダー・・・・・チェース A を手動で実行します
9) ロード・・・・・チェース A モード時に使用します。
10) クロスフェード”B”フェーダー・・・・・チェース B を手動で実行します。

11) ロード・・・・・チェース B モード時に使用します。
12) ページボタン・・・・・PAGE1～PAGE4
13) ミキサーライト端子・・・・・DC+12V 250mA、3 ピン XLR タイプ
14) 電源スイッチ
15) ブランクスイッチ
16) LCD ディスプレイ
17) マスターフェーダー
18) クリアーボタン

19) - 22) ファンクションボタン(F1～F4)
23) セットボタン
24) プログラムボタン
25) チェースボタン
26) シーン/チャンネルボタン
27) ENTER ボタン
28) ナンバーボタン 1-9
29) クリアーボタン



リアパネル



1) メイン電源スイッチ
2) 電源ヒューズ（2A）
3) AC 入力端子（AC100V 50-60Hz）
4) ミキサーライト電源スイッチ
5) DMX512 入力端子
6) DMX512 出力端子
7) アナログ出力端子
8) 拡張メモリー入力端子
9) オーディオ入力端子（100mV）

電源スイッチ

電源を入れる

1) 電源ケーブルをコンセントにしっかりと差込み、リアパネルの電源スイッチを入れます。
2) フロントパネルの電源スイッチをオンにし、LCD ディスプレイの状態を確認します。
3) ブランクスイッチの LED が OFF になっているか確認してください。

電源を切る

1) フロントパネルの電源スイッチをオフにします。バッテリーの再充電モードに入ります。
2) リアパネルの電源スイッチをオフにします。バッテリーの充電は行っていません。保存したデータはおよそ 7 日間保存されます。

チャンネルの設定

明るさの調整

STEP-1:
マスターフェーダーを一番上まで上げます。マスターフェーダーはすべてのチャンネルの明るさを調節します。

STEP-2:
シーン/チャンネルボタンを押し、モードを選択します。ページボタンの LED が緑色に点灯します。

STEP-3
PAGE1 を押し、チャンネル 1～24 の明るさをフェーダー#1-24 で調節します。

STEP-4
PAGE2 を押し、フェーダー#1-24 を一度 0 まで下げてから、チャンネル 25～48 の明るさを調節します。

STEP-5
PAGE3 を押し、フェーダー#1-24 を一度 0 まで下げてから、チャンネル 49～72 の明るさを調節します。

STEP-6
PAGE4 を押し、フェーダー#1-24 を一度 0 まで下げてから、チャンネル 73～96 の明るさを調節します。

※各ページを切り替えた時は、必ずフェーダーを一度 0 まで下げてから新しい明るさに調節してください。

明るさの修正

STEP-1
PAGE1 を押します。（チャンネル 1-24）

STEP-2
フェーダー#1 を一度 CH01＝00 に調節し、それから CH01＝FL となるまで上げます。さらに CH01＝50 となるように調節すると、設定を変更します。

設定の消去

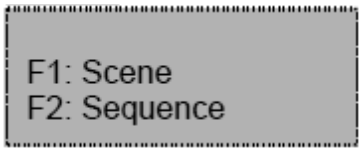
フェーダー#1-24 とマスターフェーダーを一度 0 まで下げます。マスターフェーダーの下に位置するクリアーボタンを押すと、設定した内容を消去します。

シーンの設定

シーンの設定

STEP-1
「チャンネルの設定」の項目に従って、各チャンネルの明るさ調整を行ってください。

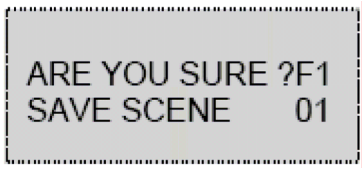
STEP-2
プログラムボタンを押します。



STEP-3
F1 ボタンを押し、SCENE モードを選択します。

STEP-4
F2 ボタンを押し、SAVE を選択してシーンを保存します。

STEP-5
ENTER ボタンを押し、設定を確定します。



STEP-6
シーン 2～96 に関しても同様に設定します。

※各ページに 24 のシーンを設定可能、4 ページで 96 のシーンを保存することができます。

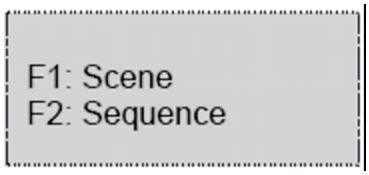
シーンの読み込み

1. プログラムボタンを使ってシーンを読み込む

STEP-1
全てのチャンネルの明るさを 0%にします。

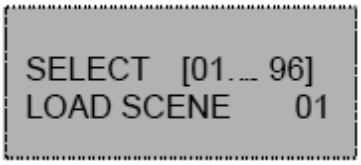
STEP-2
マスターフェーダーで、明るさの調整をします。

STEP-3
プログラムボタンを押してから、F1 を押し SCENE モードを選択します。



STEP-4
再度 F1 を押し、LOAD を選択して SCENE を読み込みます。

STEP-5
0-9 のナンバーボタンで読み込むシーンナンバーを選びます。



STEP-6
ENTER ボタンでシーンの読み込みを確定します。

2. シーン/チャンネルボタンを使ってシーンの読み込む（フラッシュ時）

ページボタンの LED が赤く点灯している際は SCENE モードであることを表し、緑色に点灯している際は CHANNEL モードであることを表します。

STEP-1
全てのチャンネルの明るさを 0%にします。

STEP-2
マスターフェーダーで明るさの調整をします。

STEP-3
PAGE1 を押します。

STEP-4
シーン/チャンネルボタンを押し、SCENE モードを選択します。

STEP-5
P1 を押してシーンを読み込みます。（フラッシュ状態になります。）

3. フェーダー#1-24 を使ってシーンを読み込む。

STEP-1
全てのチャンネルの明るさを 0%にします。

STEP-2
マスターフェーダーで調整をします。

STEP-3
PAGE1 を押します。

STEP-4
シーン/チャンネルボタンを押し、SCENE モードを選択します。PAGE ボタンの LED が赤く点灯します。

STEP-5
フェーダー#　1 を調整してシーンの読み込みをします。

※プログラムボタン、シーン/チャンネルボタンを使って読み込みを行う場合、シーンのスピードを読み込むことが出来ます。フェーダーを使って読み込む際はディマー機能をフェーダーで調整します。

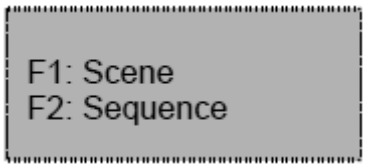
シーケンス・チェースの設定

シーケンスについて

連続したプログラム動作として2つ、もしくはそれ以上のシーン動作を意味し、チェース、またはA/Bクロスフェーダーの両方を操作することができます。メモリー内に24のシーケンスを保存可能、各シーケンスには64のステップを設定することができます。

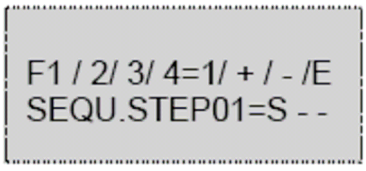
シーケンスの編集

STEP-1
プログラムボタンを押します。



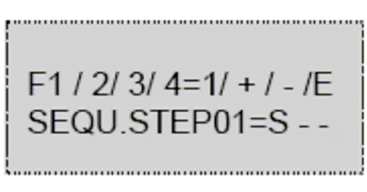
STEP-2
F2を押し、SEQUENCE モードを選択します。

STEP-3
F3を押し、EDITを選択してシーケンスの編集を行います。

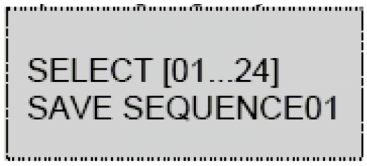


F1を押すとSTEP-1に戻ります。
F2を押すと前に進みます。
F3を押すと後ろに戻ります。
F4を押すと設定を保存します。

STEP-4
0-9 のナンバーボタンでシーンを選択し、ENTER ボタンを押して選択を確定します。

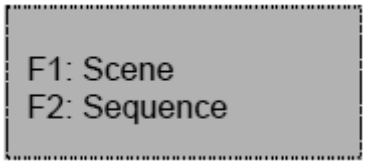


STEP-5
STEP-3 の方法に従ってシーンの設定を続けます。F4 ボタンを押して編集を完了し、ENTER ボタンで保存します。

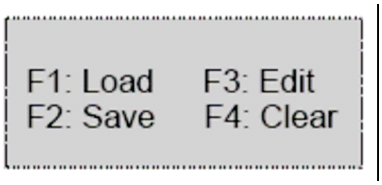


シーケンスの修正

STEP-1
プログラムボタンを押します。

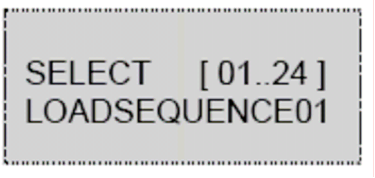


STEP-2
F2 を押し、SEQUENCE モードを選択します。

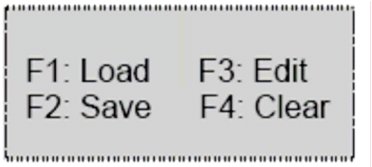


STEP-3

F1 ボタンを押し、LOAD を選択して 0-9 のナンバーボタンでシーケンスを選択します。



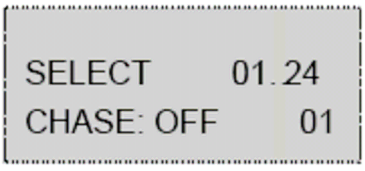
STEP-4
ENTER ボタンで修正を確定します。



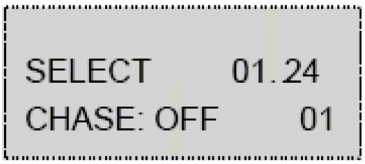
STEP-5
F3 を押してシーケンスの設定をします。

チェースの読み込み

STEP-1
チェースボタンを押します。



STEP-2
ナンバーボタン 0-9 でチェースを選択し、ENTER ボタンで確定します。



STEP-3
チェーサーフェーダーを最上部まで上げます。

STEP-04
スピードフェーダーでチェースのスピードを調整します。オーディオ・コントロールで使用するには、フェーダーを 0%に設定します。

P1-P24 ボタンを使ったチェースの読み込み

STEP-1
最初の 1 セットのチェースを読み込むには、チェーサーフェーダーの下にある、ロード/ポーズボタンと P1 ボタンを押します。その後のチェースを読み込むには P2 を押します。

ロード/ポーズボタンを押すと、チェースが一時停止します。再開するにはもう一度ロード/ポーズボタンを押します。

全部で 24 セットのチェースを設定することが出来ます。

チェースの再生を停止する

■チェースボタンを 2 度押してください。
■チェーサーフェーダーを 0%の位置に動かします。

A/B クロスフェーダーによるシーンの切り替え

A/B クロスフェーダーについて

■2 つの異なるシーンをコントロールします。
■シーケンスモード時、チェースをマニュアルで操作するのに使用します。

A/B クロスフェーダーにシーケンスを設定する

例:現在のシーケンスをクロスフェーダー”A”に設定する場合

STEP1
クロスフェーダーA の下にあるロードボタンと P1 を同時に押し、現在のシーケンスをクロスフェーダーA に割り当てます。

A/B クロスフェーダーのデータを設定する

A/B クロスフェーダーのフェードイン/フェードアウトの時間はスピードフェーダーで調節します。

STEP-1
スピードフェーダーを調整後、フェード保存ボタンを押してスピードの設定を確定します。

STEP-2
A クロスフェーダーを一番上に設定し、ロードボタンを押します。

A/B クロスフェーダーを一時停止する

A クロスフェーダーを 0%に調整し、ロードボタンを押します。

その他の機能

LCD ディスプレイ／デフォルト設定

1.LCD バックライトの電源

STEP-1
セットボタンを押します。

STEP-2
F1 を押して SETUP を選択します。

STEP-3
更に F1 を押し、LCD を選択します。

STEP-4
もう一度 F1 を押し BACKLIGHT を選択すると、LCD ディスプレイのバックライトが点灯します。
最後にもう一度 F1 を押して設定を保存します。

2.LCD のコントラスト調整

上記設定の STEP4 で F2 を押し、CONCEN を選択します。更に F2 を押して設定した内容を確定します。

3.データの削除

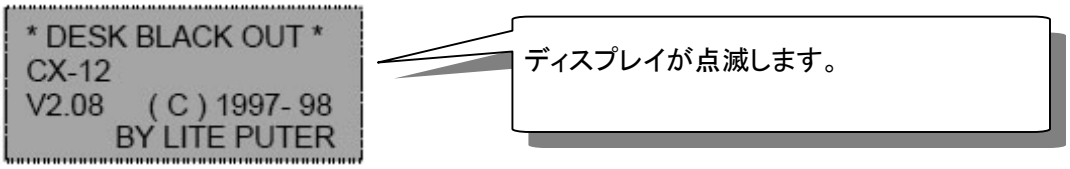
STEP-1
セットボタンを押します。

STEP-2
F1 を押し、SETUP を選択します。

STEP-3
F2 を押し、RESET SYSTEM を選択します。

STEP-4

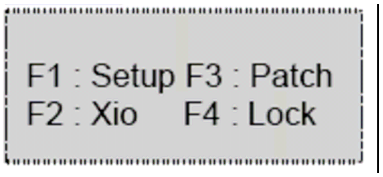
F1 を押すと全てのデータが削除されます。ブランク機能が有効になります。設定を続ける時はブランクボタンを押して下さい。



外部メモリーカード

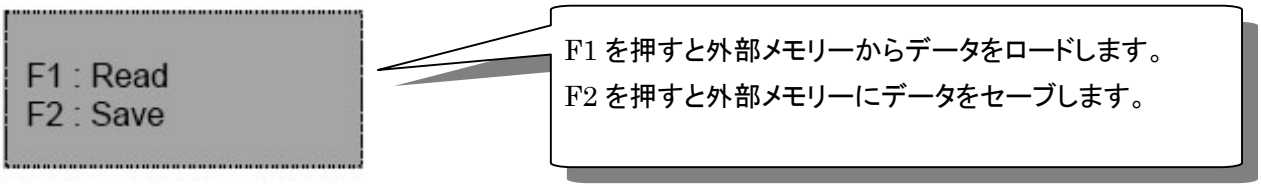
STEP-1

セットボタンを押します。



STEP-2

F2 を押し、XIO を選択します。



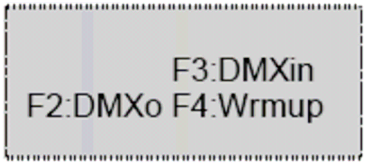
チャンネルのパッチ設定/ ウォームアップ設定

1.チャンネルのパッチ設定

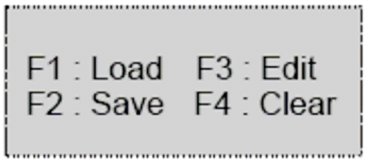
例: ディマーの 097 チャンネルを CX-12 のチャンネル 1 に割り当てる場合

STEP-1
セットボタンを押します。

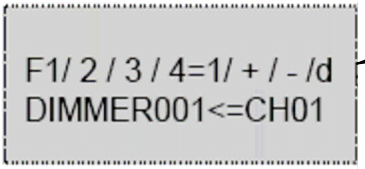
STEP-2
F2 ボタンを押し、XIO を選択します。



STEP-3
F3 ボタンを押し、DMXIN を選択します。



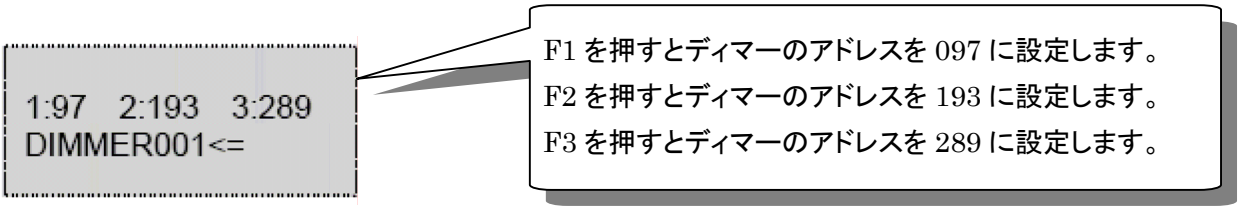
STEP-4
F3 ボタンを押し、EDIT を選択します。



F1 を押すとディマー001 を選択します。
F2 を押すと、数字が 1 足されます。
F3 を押すと、数字が 1 惹かれます。
F4 を押すと、ディマーのアドレスを選択します

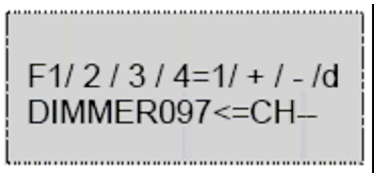
STEP-5

F4 ボタンを押してディマーのスタートアドレスを設定します。



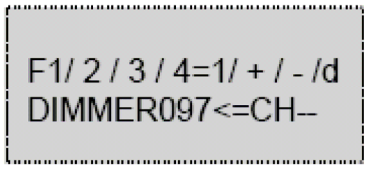
STEP-6

F1 ボタンを押して、ディマーのアドレスを 097 に設定します。



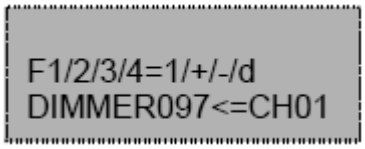
STEP-7

更に F1 ボタンを押します。

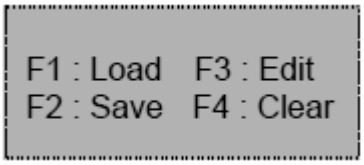


STEP-8

ナンバーキー0 と 1 を押してチャンネルナンバーを 01 に設定します。ENTER ボタンで設定した内容を確定します。



STEP-9
セットボタンを押します。



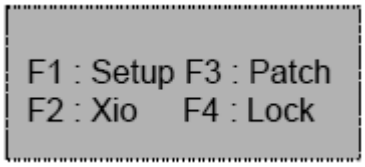
STEP-10
STEP9 の画面で F2 を押すと、設定を保存します。（F1-F4 まで 4 通りの設定が可能です）

STEP-11
STEP9 の画面で F1 を押すと、F1-F4 からパッチデータを読み取ります。

STEP-12
STEP9 の画面で F4 を押すと、データを消去してデフォルトの設定になります。

2.ウォームアップの設定（0-9%）

STEP-1
セットボタンを押します。



STEP-2
F3 を押し、PATCH を選択します。

STEP-3
F4 を押し、WRMUP を選択します。

F1 を押すと全チャンネルのウォーミングアップをします。
F2 を押すとシーンの読み込みを始めます。
F3 を押すと前回作ったステップの設定を削除します。

ロック機能

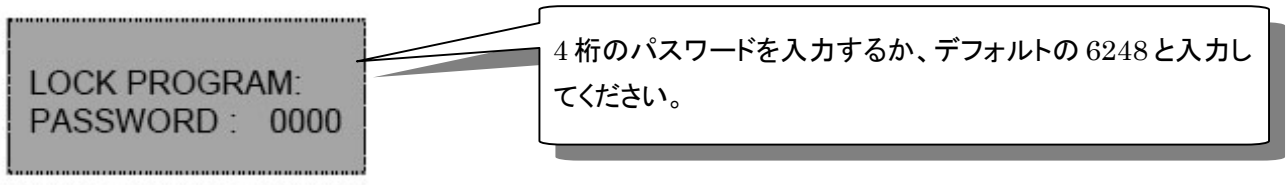
1.パスワードの設定

STEP-1
セットボタンを押します。

STEP-2
F4 を押し、LOCK を選択します。

F1 を押すとセット/プログラムボタンをロックします。
F2 を押すと全ての機能ボタンをロックします。

STEP-3
プログラムボタンをロックするには F1 を押します。



STEP-4
ENTER ボタンを押して設定内容を確定します。

2.ロックの解除

セットボタンを押して 4 桁のパスワードを入力し、ENTER ボタンを押すとロックが解除されます。

スペック

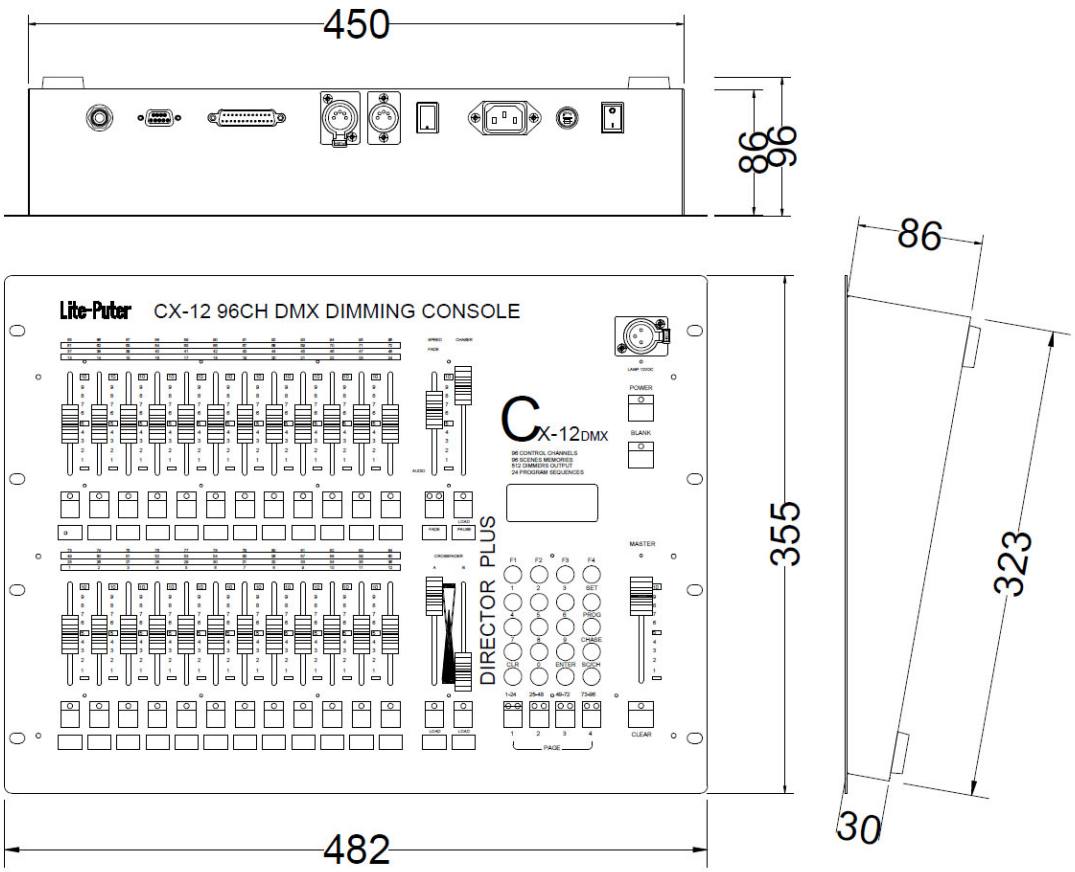
使用電源	AC100V、50/60Hz
アナログ出力電圧	DC0 – 10V
アナログ出力チャンネル	24CH(ピン 1～24:チャンネル 1～24 / ピン 25:GND)
アナログ端子	D-SUB25 ピン(オス)
DMX 入出力	DMX512
DMX 出力チャンネル数	512 チャンネル
DMX 入出力端子	5 ピン XLR 端子(オス、メス)
オーディオ入力	内蔵マイク(最大 120dB)/外部(100mV)
ミキサーライト端子	3 ピン XLR 端子、DC+12V 250mA
メモリーカード	64 K
サイズ	8U 標準ラックサイズ、48.2(W)×35.5(H)×12.5(D)cm
重量	5kg

＜注意＞

1.使用前に最低 24 時間はリアパネルのスイッチを ON にしバッテリーを充電してください。

2.初回の使用時、7 日以上充電されないと保存されたデータが失われる可能性があります。

寸法図


450
86
96
86
Lite-Puter CX-12 96CH DMX DIMMING CONSOLE
CX-12DMX
DIRECTOR PLUS
355
323
482
30

Lite-Puter

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用
通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）
初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項
サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。